

令和4年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～					
	施策	31 住宅 ー市民や事業者の協力により、良好な住環境を整備しますー					
重点プロジェクト		美しくにぎわいのあるまちプロジェクト					
主管課	都市政策部 建築課	評価責任者			山風呂 敏		
		評価日			令和5年6月1日		
関連課	危機管理防災課						
目標	住宅の密集化の改善や住宅の耐震化とともに、周辺環境に配慮した安全で快適な住環境を整備します。また、老朽化したマンションや管理不全の空き家対策の推進を図ります。						
施策目標の実現に向けた取組	<p>(1) 良好な居住環境の整備 ○災害時の避難や消防活動に支障が想定される住宅密集地域では、住宅の不燃化や共同化によるオープンスペースの確保など、市民や関係機関の協力の下、ゆとりのある空間整備を行い、防災能力を向上させる。 ○住宅の耐震化を進めるために、長期優良住宅認定や既存住宅耐震診断・改修補助金交付制度について、相談窓口の充実や情報提供を行う。</p> <p>(2) 空き家等の適切な維持管理 ○空き家の適正管理や利活用などの体制を構築し、良好な居住環境を促進します。マンションの適正な維持管理及び老朽化したマンションの改修・建て替えを促進する。</p>						

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策目標	指標1	指標名	耐震改修補助件数					
		説明	ふじみ野市既存住宅耐震改修工事費補助金交付要綱に基づき補助金を交付した件数（対象住宅が築後40年以上となり老朽化などから件数が見込めないため、H30～R4年度までの目標値を見直した。）					
	単位	件						
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	4	4	6	6	8	10
		実績値	0	2	0	0	0	
	指標2	指標名	空家バンク登録件数					
		説明	市内に存在する空家等の中古市場への流通促進を図るため、空家等の売却等を希望する所有者から空家バンクに登録された件数。（指標の数値は累計である。）					
	単位	件						
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	30	40	50	60	70	80
		実績値	12	19	24	30	38	
	指標3	指標名	空家ワンストップ相談窓口の宅建協会との連携件数					
		説明	空家化を未然防止するため(公社)埼玉県宅地建物取引業協会埼玉西部支部と相続、権利整理、売却、賃貸、リフォーム、土地活用、解体などの相談に対する協定を結び、相談を実施した件数。（平成31年4月より実施）					
	単位	件						
	活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値		10	10	20	20	20
		実績値		17	21	55	10	
	指標4	指標名						
		説明						
単位	件							
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							
指標5	指標名							
	説明							
単位								
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	121,455	114,557	111,268	110,729	105,989	110,551
	人件費	29,627	35,214	38,337	30,495	35,540	23,196
収入	特定財源	52,492	51,208	50,810	49,634	48,907	49,560
	一般財源	98,590	98,563	98,795	91,590	92,622	84,187

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	建築物の耐震化及び補助事業に関する周知	耐震化と補助事業に関するリーフレットを建築課窓口で配布するとともに、大井総合支所、出張所や公民館等の市内公共施設にもポスターやリーフレットを配架すること、また、ホームページには年間を通して掲載、広報紙には年間で3件掲載して周知活動を行った。	実際の補助金申請は、耐震診断、耐震改修工事共に無かった。しかし、補助金申請には至らなかったが、耐震化の相談は6件あり市民の事業に対する関心度が確認できた。	既存住宅耐震化促進事業
取組②	空家バンクおよび空家ワンストップ相談窓口等の周知	空家バンクや空家ワンストップ相談窓口等の案内チラシを空家所有者へ直接送付するとともに建築課、市民課、税務課及び大井総合支所での配布や市主催の催事でチラシ配架を行った。また、ホームページに年間を通して掲載、広報紙には年間で4件掲載して周知活動を行った。	令和4年度の実績は空家バンクの登録が8件、ワンストップ相談の利用が10件あり、空家所有者等のニーズや空家等の個々の状況に応じた問題解決の促進につながった。	空家対策事業
取組③	マンション管理適正化推進計画の策定	今後、築40年以上の高経年マンションが急増することが予想される中、管理不全マンションの発生を未然に防止する施策を実施するため、令和5年3月に「マンション管理適正化推進計画」を「第2期ふじみ野市空家等対策計画」に組み込み策定した。	「マンション管理適正化推進計画」にはマンションの実態把握やマンション管理計画の認定制度の導入など、マンションの適正な管理を促進するための新たな施策を定めており、令和5年度から同計画に基づき施策を開始するための体制を整えた。	空家対策事業
取組④				
取組⑤				

5. 評価

評価	
指標の達成状況	既存住宅耐震化促進事業については問い合わせは多いが、補助対象となる住宅が建築基準法の構造規定が改正された昭和56年5月以前に着工された住宅としているため、新築時から40年程度経過し老朽化が進んでいることや生活様式の変化から、耐震改修を行わず建て替えされる方も多い。したがって、耐震改修の補助件数の数値には現れないが、建て替えによる耐震化が進んでいる。また、住宅地では災害時の避難経路確保の面からも住宅の倒壊を防ぐため耐震化が必要とされている。今後も引き続き、建物の利用状況や費用面で建て替えが難しい場合もあると思われるので、耐震化の必要性と補助事業について丁寧な説明を続け、耐震化の啓発と補助事業の利用促進を図る。
おおむね順調	
行政資源の活用	
おおむね適切	
取組の有効性	空家対策事業については空家を抑制する手法として空家を市場流通させることが有効であると考えられるため、今後も空家バンクに加え、相続、売却、賃貸、リフォーム、解体など、空家に関する様々な相談を一つの窓口で受けるワンストップ相談についても広く周知し、空家所有者等の様々なニーズや空家等の個々の状況に応じた問題の解決を図る。また、マンション管理の適正化を促進するためにはマンション管理組合等への相談支援や啓発及び知識の普及が重要であることから、一般社団法人埼玉県マンション管理士会との連携により定期的に実施しているマンション管理相談や令和5年度から実施するマンション管理計画認定制度等について、マンション管理組合等へのチラシ配布や広報紙、ホームページで周知し、マンション管理に関する施策を効果的に推進する。
おおむね有効	
施策の効果	
効果が得られている	

令和4年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		建築紛争防止及び調整事務	前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～		
	施策	31 住宅 ー市民や事業者の協力により、良好な住環境を整備しますー		
予算費目		一般会計 08土木費 04都市計画費 05建築指導費		
所管部課		都市政策部 建築課	評価責任者	内田 忠佳
事務事業期間		平成11年度～	評価日	令和5年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		ふじみ野市中高層建築物の建築に係る紛争の防止及び調整に関する条例		
事務事業の内容	事務事業の目的	中高層建築物の建築計画について事前説明を条例で定め、良好な近隣関係の形成を目的としている。		
	事務事業の経緯	旧大井町において施行されていた条例であり、平成17年の合併以後も引き続き施行している。		
	事務事業の概要	中高層建築物の建築紛争の防止及び調整に関すること。		
	令和4年度の主な取組	令和4年度は条例に基づく届出が4件あり、事務処理を行った。また、建築紛争相談員による建築相談の日を月1回設けているが、令和4年度の建築相談はなかった。 条例に基づく届出の事務処理及び建築相談を行い、中高層建築物の建築の際の紛争の防止に努める。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.45	0.80	0.00
		人件費	3,577	6,372	0
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		3,577	6,372	0	
事業費	報酬※	0	36	110	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	263	263	405		
支出合計		3,840	6,671	515	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		3,840	6,671	515	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		34	58	4	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	建築紛争件数		
	説明	事業者に対し、近隣への丁寧な計画説明を求めることで、建築に関する紛争防止、良好な近隣関係の形成に努めている。近隣住民等からの斡旋、調停申し立て0件を目標とする。		
活動	単位	件		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	0	0	0
	実績値	0	0	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>【事業内容】</p> <p>当事業は、ふじみ野市中高層建築物の建築に係る紛争の防止及び調整に関する条例に基づき、中高層建築物の建築に関し、関係法令に定めがあるもののほか、建築計画の事前説明並びに紛争についての斡旋及び調停について必要な事項を定めることにより、良好な近隣関係の形成及び保持に努めることを目的としている。</p> <p>令和4年度は条例に基づく届出が4件あり、事務処理を行った。また、建築紛争相談員による建築相談の日を月1回設けているが、令和4年度の建築相談はなかった。</p> <p>届出制度により、条例の主旨を事業者が理解することで近隣住民への丁寧な説明等につながっている。建築相談においては、日影等における民事的な要素が主なものとなるが、経験豊富な建築紛争相談員から相談者に対し関連法規について、丁寧でわかりやすい説明をしていただいていることから、斡旋、調停等に発展するケースが少なく、事業者や周辺住民の合意形成が図られている。</p>
------------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	建築計画の近隣住民への事前説明を事業主に実施させることは、事業者と近隣住民間の紛争を未然に防止し、良好な近隣関係の形成し保持するために有効であり、今後も事業を継続する。
中長期的方向性	
継続	

令和4年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		既存住宅耐震化促進事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～			
	施策	31 住宅 ー市民や事業者の協力により、良好な住環境を整備しますー			
予算費目		一般会計 08土木費 04都市計画費 05建築指導費			
所管部課		都市政策部 建築課	評価責任者	内田 忠佳	
事務事業期間		平成22年度～令和7年度	評価日	令和5年6月1日	
個別計画 根拠法令・条例等		建築物の耐震改修の促進に関する法律、ふじみ野市建築物耐震改修促進計画			
事務事業の内容	事務事業の目的	ふじみ野市既存住宅耐震診断料補助金交付要綱及びふじみ野市既存住宅耐震改修工事費補助金交付要綱に基づき、耐震診断・耐震改修工事を実施する既存住宅の所有者に対し、耐震診断料・耐震改修工事費の一部を補助し、地震に強い住宅の整備を行うとともに、住宅の耐震化に対する意識の向上を図る。			
	事務事業の経緯	平成22年3月、埼玉県建築物耐震改修促進計画に基づき、ふじみ野市建築物耐震改修促進計画を策定。平成22年4月、ふじみ野市既存住宅耐震診断料補助金交付要綱を施行。令和3年3月、法律の改正及び埼玉県の促進計画の改正に合わせ本市計画を改正し、計画期間を令和7年度まで延長した。			
	事務事業の概要	既存住宅耐震診断・改修補助金の交付及び既存住宅の耐震化の相談			
	令和4年度の主な取組	令和4年度は既存住宅耐震診断料補助金交付要綱に基づく申請及び既存住宅耐震改修工事費補助金交付要綱に基づく申請のどちらも0件であった。補助金の案内チラシを作成し、市内公共施設に配置し、広報誌への掲載を令和4年6月、令和4年11月及び令和5年2月に行い、耐震診断・耐震改修工事の補助金について周知を図った。また、令和2年5月に埼玉建築士会入間第一支部と耐震診断・リフォーム相談に関する協定を締結した。協定に基づき、今後相談会等を行う予定としているが、令和3年度に引き続きコロナウイルス感染拡大防止として、相談会の開催を見合わせた。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.30	0.40	0.00
		人件費	2,385	3,186	0
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
人件費	0	0	0		
人件費計		2,385	3,186	0	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	50	0	2,000	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	0	0	0		
支出合計		2,435	3,186	2,000	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源	2,435	3,186	2,000		
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		21	28	17	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	耐震改修補助件数		
	説明	耐震改修に対する補助件数を記載している。令和4年度は6件の住宅に対して耐震改修の補助を行うことを目標としたが、令和4年度実績において、補助件数は0件であった。		
成果	単位	件		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	8	6	0
	実績値	0	0	
指標 2	指標名	広報誌掲載件数		
	説明	補助金に対する広報誌への掲載件数を記載している。令和4年度は3件の掲載件数を目標とし、令和4年度実績において、掲載件数は3件であった。		
成果	単位	件		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	0	3	0
	実績値	3	3	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	【事業内容】
	<p>埼玉県建築物耐震改修促進計画に基づき、ふじみ野市建築物耐震改修促進計画を平成22年3月に策定した。当該促進計画において市内の既存住宅の耐震化の支援制度を創設することとなっていることから、ふじみ野市既存住宅耐震診断料補助金交付要綱及びふじみ野市既存住宅耐震改修工事費補助金交付要綱を平成22年4月から施行した。法律の改正及び埼玉県耐震改修促進計画の改正に合わせ、令和3年3月に本市計画を改正し、計画期間を令和7年度まで再延長した。それを受け、各交付要綱の適用期間も同様に延長した。</p> <p>当事業は、ふじみ野市既存住宅耐震診断料補助金交付要綱及びふじみ野市既存住宅耐震改修工事費補助金交付要綱に基づき、耐震診断・耐震改修工事を実施する既存住宅の所有者に対し、耐震診断料・耐震改修工事費の一部を補助することで、地震による既存住宅の倒壊等の被害を軽減し、地震に強い住宅の整備を促進することを目的としている。</p> <p>令和4年度は既存住宅耐震診断料補助金交付要綱に基づく申請及び既存住宅耐震改修工事費補助金交付要綱に基づく申請のどちらも0件だった。</p> <p>補助金の案内チラシを作成し、市内公共施設に配置し、広報誌への掲載を令和4年6月、令和4年11月及び令和5年2月に行い、耐震診断・耐震改修工事の補助金について周知を図った。</p> <p>補助に関して窓口や電話等での相談は多いが、補助対象となる住宅が築40年程度経過することから、老朽化や生活様式の変化により建て替えを選択していることも申請に至らない一因となっていると考えられる。</p> <p>また、大きな地震が発生した直後には相談等が多くなるが、時間の経過とともに耐震化に関する意識が薄れて相談件数等が減少する傾向にあるため、安全安心なまちづくりを目指し、啓発を継続的に行う必要がある。今後も様々な手法により周知を図ることで、引き続き啓発に努める。</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	耐震化に対する市民の意識啓発を図り、補助制度によって旧構造規定で建築された住宅の耐震化を促進するため、交付申請件数の向上を図る必要があり、令和2年度に締結した埼玉建築士会入間第一支部との協定を活用し、さらなる啓発方法の検討を行いながら事業を継続する。
中長期的方向性	
継続	

令和4年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		市営住宅等管理事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～			
	施策	31 住宅 ー市民や事業者の協力により、良好な住環境を整備しますー			
予算費目		一般会計 08土木費 05住宅費 01住宅管理費			
所管部課		都市政策部 建築課	評価責任者	内田 忠佳	
事務事業期間		平成9年度～	評価日	令和5年6月1日	
個別計画 根拠法令・条例等		公営住宅法 ふじみ野市営住宅条例 ふじみ野市営住宅条例施行規則 ふじみ野市特定目的借上公共賃貸住宅条例（廃止）附則（平成30年条例第21号）入居者に関する経過措置			
事務事業の内容	事務事業の目的	住宅に困窮する市内の低額所得者、高齢者、障がいのある人、ひとり親世帯に住宅を供給し市民生活の安定と社会福祉の増進を図る。			
	事務事業の経緯	霞ヶ丘・上野台団地の建て替えに伴い、低所得な従前居住者（高齢者等）救済及び住宅に困窮する市民を対象に特定目的借上公共賃貸住宅（50戸）、市営住宅（89戸）を平成9年度から順次供給し、入居予定者を抽選で待機者として決定し、住宅の維持管理を（独）都市再生機構、入居者管理を市が行う区分管理を行っている。			
	事務事業の概要	市営住宅の入居者補欠者を募集し、抽選のうえ、決定を行っている。入居者の入退去管理や居住者からの苦情対応のほか、収入調査・認定、家賃決定、家賃徴収、（独）都市再生機構への住宅借上げ料の支払いを行い、借上げ料については、財政負担軽減のため、国に対して補助申請をしている。また、借上げ当初の入居者の高齢化もあり、福祉部局と連携した入居者対応の事務量が増加している。			
	令和4年度の主な取組	市営住宅の入居補欠者の募集を行い、市営住宅に空きが生じた際、補欠順位に従い入居手続きを速やかに行うことで、住宅に困窮する低額所得者の市民生活の安定と社会福祉の増進を図る。また、市営住宅（89戸）のうち霞ヶ丘31号棟（9戸）は、令和2年度から、ひとり親世帯向けに入居補欠者を募集しており、引き続き住宅に困窮するひとり親世帯の住環境の改善を図った。			

2. 事務事業費・人件費

（単位：千円）

【支出】		令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.25	1.30
		人件費	9,935	10,355
	再任用職員	従事人数(人)	0.50	0.50
		人件費	2,530	2,636
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00
	人件費	0	0	
人件費計		12,465	12,991	10,333
事業費	報酬※	0	0	0
	賃金※	0	0	0
	需用費	813	225	1,180
	委託料	488	409	430
	使用料及び賃借料	105,942	104,359	105,427
	工事請負費	0	0	0
	負担金、補助及び交付金	3	3	3
	扶助費	0	0	0
その他事業費※	105	106	131	
支出合計		119,816	118,093	117,504
財源内訳	特定財源	国庫支出金	11,723	12,357
		県支出金	0	0
		使用料・手数料	31,739	30,426
		分担金・負担金	0	0
		地方債	0	0
		基金	0	0
		その他	6,172	6,124
一般財源	70,182	69,186		
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		614	606	588

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	ひとり親世帯向け住宅の確保		
	説明	令和元年度より県営住宅の入居者募集では、ひとり親世帯の自立支援を図るためにひとり親世帯向けの募集が行われていることから、市営住宅についても令和2年度より市営霞ヶ丘第1住宅（9戸）に空きが出た場合の入居補欠者募集をひとり親世帯向けに確保している。 今後も継続的に入居補欠者募集において、ひとり親世帯向けの枠を確保する。		
活動	単位	戸		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	9	9	9
	実績値	9	9	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>市営住宅の入居者補欠者の募集を行い、市営住宅に空きが出た場合、待機している方の入居をスムーズに行い、空きの状態を少なくすることで市の財政負担を軽減させる。 また、入居者の高齢化も進んでおり、福祉部局と連携をとることで入居者の生活の安定と社会福祉の増進に寄与する。</p> <p>※産休代替等に係る会計年度任用職員の人件費として別途予算管理する74千円が加算される。</p>
------------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
縮小	<p>特定目的借上公共賃貸住宅については、平成29年10月の条例廃止に伴い（独）都市再生機構との契約更新で戸数を随時減らすことを可能としたことから、入居者が退去した住戸ごとに返還し、事業としては縮小する。</p>
中長期的方向性	<p>市営住宅については、令和5年度に市営霞ヶ丘30号棟について（独）都市再生機構と更新契約をする が、少子高齢化の一層の進展、住宅困窮者の多様化、民間空き家の増加、今後見込まれる世帯数の減少に加え運営における収支バランスなどの要因を踏まえ、国や県の住宅施策に注視しながら市営住宅のあり方について研究していく。</p>
縮小	

令和4年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	空家対策事業		前年度の方向性 拡充
重点プロジェクト	美しくにぎわいのあるまちプロジェクト		
施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～	
	施策	31 住宅 ー市民や事業者の協力により、良好な住環境を整備しますー	
予算費目	一般会計 08土木費 05住宅費 01住宅管理費		
所管部課	都市政策部 建築課	評価責任者	内田 忠佳
事務事業期間	平成29年度～	評価日	令和5年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等	空家等対策の推進に関する特別措置法、ふじみ野市空家対策の推進に関する条例及び施行規則、ふじみ野市空家バンク実施要綱、ふじみ野市空家等対策計画		
事務事業の内容	事務事業の目的	空家等所有者に対して空家等の発生予防、適切な管理、流通や利活用など促進し、地域住民の生活環境の保全を図る。	
	事務事業の経緯	適切な管理が行われていない空家等が地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼすなど全国的に空家等をめぐる課題や苦情が多く、国においても空家等対策の推進に関する特別措置法が平成26年に制定されるなど空家対策の必要性が高まっている。	
	事務事業の概要	市内における空家等の調査や、空家等対策計画に基づいた様々な取組みにより、所有者に対し、空家等の発生予防、適正管理及び利活用の促進を図る。	
	令和4年度の主な取組	空家対策の取組の柱となる空家対策等計画が令和4年度満了となることから、空家等対策協議会に諮り第2期空家等対策計画を策定した。 また、居住などの様子がない新たに生じた空家について所有者へ適正管理に関するアンケート調査を実施し、所有者の管理意識を高めることで、管理不全な空家の発生抑制につなげた。	

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.20	1.30
		人件費	9,538	10,355
	再任用職員	従事人数(人)	0.50	0.50
		人件費	2,530	2,636
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00
	人件費	0	0	
	人件費計	12,068	12,991	12,863
事業費	報酬※	40	56	200
	賃金※	0	0	0
	需用費	139	206	208
	委託料	462	297	312
	使用料及び賃借料	0	0	20
	工事請負費	0	0	0
	負担金、補助及び交付金	0	0	0
	扶助費	0	0	0
その他事業費※	2,424	27	125	
	支出合計	15,133	13,577	13,728
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0
		県支出金	0	0
		使用料・手数料	0	0
		分担金・負担金	0	0
		地方債	0	0
		基金	0	0
		その他	0	0
	一般財源	15,133	13,577	13,728
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		132	119	119

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	空家ワンストップ相談窓口の宅建協会との連携件数		
	説明	(公社)埼玉県宅地建物取引業協会埼玉西部支部と空家に関する相続、権利の整理、売却方法、賃貸方法、リフォーム、土地活用、解体など様々な相談に対する協定を結び、市と連携し、空家化を未然防止するための活動指標(平成31年4月より実施)		
活動	単位	件		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	20	20	20
	実績値	55	10	
指標 2	指標名	空家バンク登録件数		
	説明	市内に存在する空家等の中古市場への流通促進を図るため、空家等の売却等を希望する所有者から空家バンクへの登録を行った件数である。		
成果	単位	件		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	60	70	80
	実績値	30	38	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>市内における空家等の調査や、空家等対策計画に基づいた様々な取組みにより、空家等の発生の予防、適切な管理の促進及び利活用について、空家等に関する施策を総合的に推進し、もって安全かつ安心な地域住民の生活環境の保全に寄与する。</p> <p>ふじみ野市資源リサイクル協同組合と協定を締結したことにより、市内の空家等が管理不全な状態とならないよう空家等の対策を推進した。また、NPO法人空家・空地管理センターとの協定締結により、空家の適正管理等に関する啓発セミナーの開催のための準備をし、コロナ禍の緊急事態宣言明けには、速やかに開催することで、管理不全空家が増加しないよう所有者等の自発的な管理を促す対策を講じる。</p> <p>※産休代替等に係る会計年度任用職員の人件費として別途予算管理する74千円が加算される。</p>
------------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
拡充	近年の少子高齢化や社会経済情勢などの変化により、居住その他の使用がなされていない空家等が年々増加しており、こうした空家等の中には、適切な管理がなされず、防災、衛生、景観など多岐に渡る問題を生じさせ、地域住民の生活環境に深刻な影響を与えているものもあり、今後、空家等の数が更に増加すれば、これらの問題が一層深刻化することが懸念されるため。
中長期的方向性	
拡充	